

市民のニーズ等について

今後の市民会館の方向性、ニーズなどを検討するため、平成27年度に18歳以上の市民、在勤・在学または大洲市民文化会館を利用したことのある方を対象にアンケートを実施。61人（男性18人、女性43人）から回答を得た。年齢別にみると、60歳代の応募が最も多く全体の27.9%であった。

また、平成28年度には、会館利用団体に属する者、平成27年度実施の構想提出者、公募等による15名の委員で構成する「新しい市民文化会館を考える市民会議」を設置し、新しい文化会館づくりのために必要な基礎データの把握・整理を行った。

以下、市民アンケート、市民会議の調査結果は次のとおりである。

市民アンケート

市民会議

(ア) 建設場所（具体的地名）

◆東大洲が最も多く57%、次いで肱南地区の25%

◆肱北地区がほとんどを占めており、市民アンケートと同様、東大洲が最も多い。

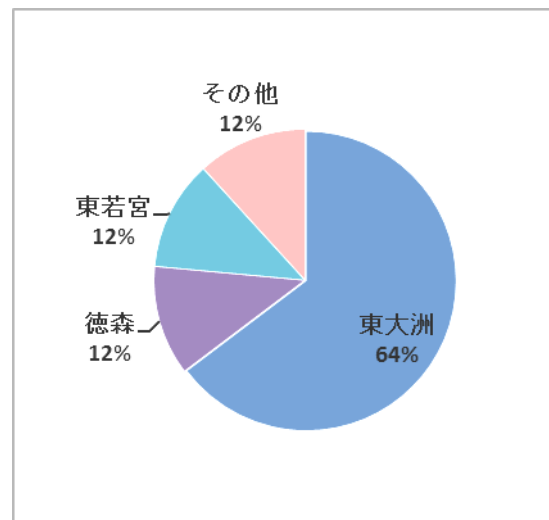
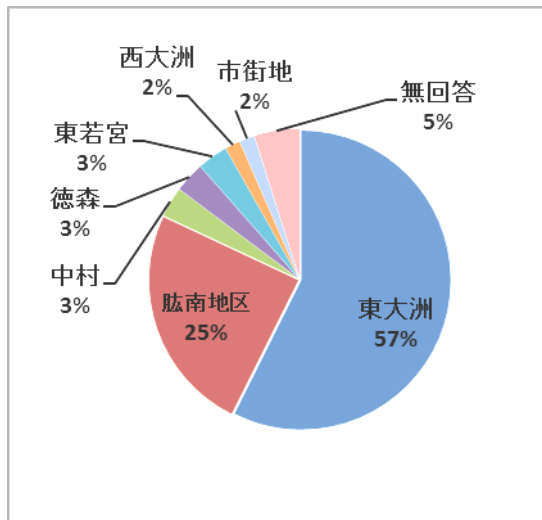


図4 建設場所（具体的地名）

(イ) 建設場所（優先すべき事項）

◆交通アクセスに利便性のある場所が求められている。

◆市民アンケートと同様、交通アクセスに利便性のある場所が求められている。

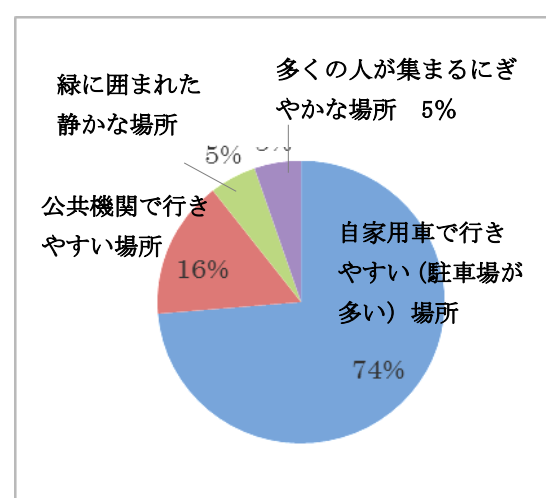
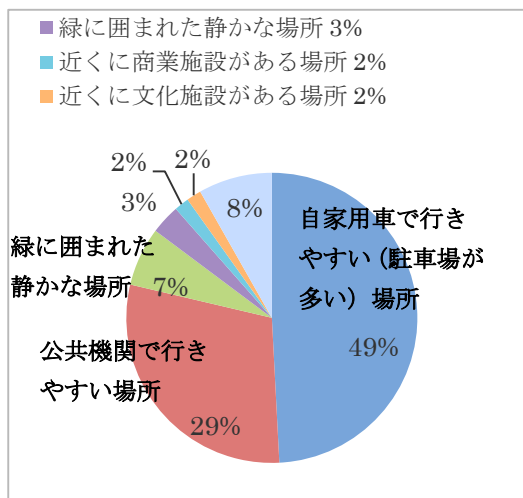


図5 建設場所（優先すべき事項）

市民アンケート

市民会議

(ウ) 大ホールの規模

◆現状の 778 席より大規模、または同規模を望む声が多い。

◆700 席未満の意見がみられるものの、市民アンケートと同様 900 席以上の意見が 70%を超えている。

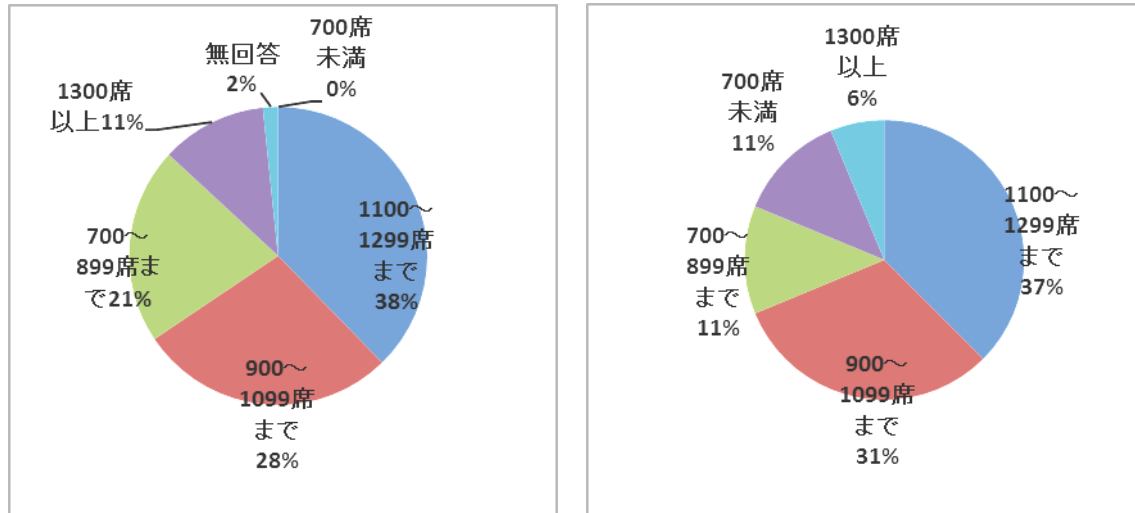


図 6 大ホールの規模

(エ) 必要だと思う施設の機能

◆小ホール、多目的スペース、会議室、展示室・ギャラリーの設置が求められている。

◆小規模のコンサートに適した小ホール、多目的ホールの設置が求められている。

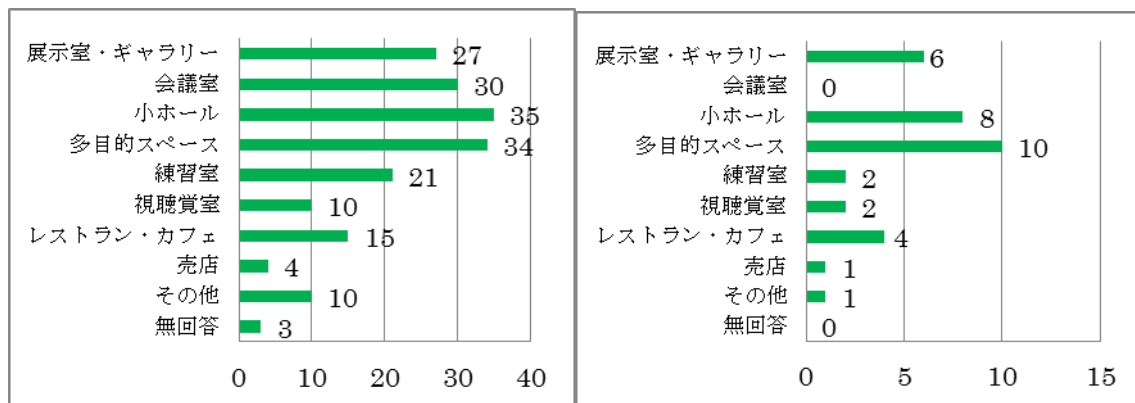


図 7 必要だと思う施設の機能

注) 図 7 市民会議においては、会議室の配置は必須であるとの観点から、会議室を除く機能についてアンケートをとったものである。

オ) 自由意見（主なもの） ※構想、市民会議意見を集約

▼市民会館の不便な点▼

- ・駐車場やトイレ不足、音響の悪さ、動線の悪さ、バリアフリーへの対応

【新市民文化会館の在り方】

- ・十分な駐車スペース（大型バス含む）の確保
- ・ユニバーサルデザインを積極的に取り入れる。
- ・バリアフリー対応
- ・交通アクセスに利便性のある場所への移転。
- ・歴史・文化施設は肱南地区に集約して整備することが望ましい。
- ・子ども、高齢者、障害のある方など、皆が利用しやすい設計。
- ・気軽に文化活動に参加、また発表ができ地域コミュニティが活性化するような施設。
- ・利用者の目線にたった設計

【新市民文化会館に望む機能】

- ・音響・ピアノ・舞台設備が整った 100～300 人程度収容できる小ホール。
- ・子育て世代も利用しやすい設備、環境。（大ホールに防音室があるとよい）
- ・展示室・ギャラリーの設置
- ・防音設備があり様々な活動ができる多目的スペースの整備。
- ・お茶席ができる和室
- ・カフェ・レストラン
- ・観光、歴史等の紹介・展示スペース
- ・周辺に公園を併設し、イベントの有無に関係なく気軽に立ち寄れる環境整備。
- ・ピロティ形式を取り入れる。

【その他要望】

- ・利用しやすい料金設定であること。
- ・ホールを広くし、コンサートを多く開催してほしい。
- ・市内産木材を使用した落ち着いたデザインを望む。
- ・複合施設の可能性の検討。
- ・イベントの規模によっては、ぐるりんバスの臨時便を出すなど、交通アクセスの支援を望む。
- ・年間を通して市民が気軽に参加できるイベント、各種教室の開催。
- ・10代、20代の意見を取り入れてほしい。